

アクティビティツアー向け新型コロナウイルス対策ガイドライン  
(第1版)

一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会  
令和4年2月17日

## 1. はじめに

この新型コロナウイルス対策ガイドライン（以下、ガイドライン）は、以下の内容にてパッケージが構成されている。

- ガイドラインに関する説明書（この文章）
- チェックリスト（別紙 1）
- 健康管理シート（別紙 2）

当協議会が主催するアクティビティにおける新型コロナウイルス対策は、チェックリストによる感染対策が主な作業となり、その作業をサポートするために健康管理シート、説明書が付属されている。

- このガイドラインの導入は各ガイドの責任とし、当協議会はガイドライン使用に関して生じた損害や賠償について責任を負わない。
- 新型コロナウイルスに関する情報は日々更新されており、感染の拡大や対応については地域差があるので、常に最新の情報を収集して、各地域の状況や要請にあった対応を行う。
- このガイドラインは感染対策の目安や一例であり、アクティビティの感染対策を制限するものではない。各アクティビティの感染対策の導入を支援し、感染対策の向上を目指すものであり、状況に応じてガイドラインの内容を改訂することを前提とする。

## 2. 新型コロナウイルス感染管理の概要について

### 1) 感染管理の考え方

新型コロナウイルス感染症は、適切な感染管理を行えば、感染リスクを大幅に減らすことができる。しかし、新型コロナウイルスの特性上、感染リスクをゼロにすることができないので、感染が起こることも想定して感染管理を行っていく。

### 2) 感染管理の 5 つの柱について

新型コロナウイルス対策は、感染源対策（感染している可能性の高い人をツアーに参加させない）と感染経路対策が重要である。以下の要素から構成される。

- アクティビティガイドの健康管理（体温測定と健康管理）
- 参加者対策（注意喚起、体調チェックなど）

#### 感染経路対策

- 手指の衛生
- 消毒
- 三密対策

- 密集対策：インカムの導入、原則 2m、最低 1m、プライベートツアー
- 密接対策：大声を出さない、飲食の提供時はガイドのマスク着用

### 3) ハラスメントと差別の防止について

新型コロナウイルス感染者や発生した施設に対する世論は厳しく、アクティビティガイドや参加者に対してハラスメントや差別が発生しやすい状況である。特にガイドのメンタルヘルスやコミュニケーションに対して、最大限の注意を払う必要がある。いかなるハラスメントや差別に対しても毅然とした態度で対応し、新型コロナウイルスの感染が疑われた場合には速やかに保健所に対応を相談していく。

### 3. チェックリストの活用方法の2ステップ

チェックリストは、情報の管理に注意しながら、可能な形で記録として保存する。新型コロナウイルスの感染が発生した場合には、アクティビティ内にて適切な感染症対策を行っていた証拠となり、保健所と情報共有がスムーズとなり、迅速かつ適切な対処が可能となる。また透明性を確保することで、世間からの風評被害を最小限にして、ツアーのブランドが傷つくリスクが減少する。

チェックリスト導入の2ステップは、以下の通りである。

- 1) 各チェックリストは、3つの内容から構成されており、以下の方法で実際に活用し、記録として保存する。

チェックリストの項目	チェックリストの使い方
事前チェックリスト	当協議会が、対外的な対応を調整する
営業チェックリスト	アクティビティガイドがツアー催行時にて使用する
その他	特殊な対応が必要な場合に活用する

- 2) チェックリストを数日使用した後は、ガイドが実際ツアーを運用するにあたって行った感染対策を協議会と共有し、項目の追加や削除、または文章の改訂を行って、アップデートしていく。

#### 4. 感染対策の各論

新型コロナウイルス対策を以下に示す。

項目	具体的な内容
ガイド管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アクティビティガイドは営業前に体温を測定して、体温を記録する</li> <li>● アクティビティガイドは営業前に症状の有無を確認し、記録する(別紙 2 参照)</li> <li>● 発熱があった場合、または別紙 2 に該当する症状があれば、速やかに当協議会に連絡の上、休業する</li> <li>● 65 歳以上のスタッフ、持病があるスタッフは感染時に重症化したり、合併症を引き起こしたりする可能性が高いため、本人と十分協議した上で、配置を決定する</li> <li>● アクティビティガイドの健康記録は、原則として本人が管理するものとする ただし、当協議会が本人に同意の上で内容を確認することや保健所の要請にて情報共有することは可能である</li> </ul>
参加者対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体調が悪い方(発熱や有症状者)、濃厚接触者で健康監視中にある方は来場を自粛する内容を掲示する</li> <li>● 参加時に、体温測定や体調確認を実施する</li> <li>● 参加時に、書面にてサインを伴う健康確認を実施する</li> </ul>
手指の衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飲食タイムの前にガイド及び全参加者に手指消毒をする</li> <li>● アレルギー反応のある方にはその限りではない</li> </ul>
消毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共有で使う器具(インカムなど)の消毒・清掃に関しては、原則として最低でも営業前に最低でも一度は行う</li> <li>● ガイドが自身で用意する器具については自身の裁量で消毒・清掃を行うが、原則として営業前に一度は行う</li> </ul>
社会的距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会的距離とは 2m(最低 1m)、他者と物理的に離れることである</li> <li>● 社会的距離を保てるように、インカムの利用を原則として推奨する</li> <li>● 体験の受付時にはマスクを着用することなどを参加者に周知させ、また、ガイドもマスクを着用する</li> <li>● ただし、呼吸器系の問題がある参加者についてはその限りではない</li> <li>● 飲食タイムなど接近する場合には、ガイドがマスクを着用することを推奨する</li> </ul>
マスク着用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原則アクティビティ中は、ガイド及び参加者のマスク着用を求めない</li> <li>● ただし、参加者の意向でマスクを着用する場合はそれを止めるものではない</li> </ul>

## 5. 感染が疑われる場合の対処方法

営業中に気分が悪くなった場合

- 参加者またはガイドの気分が悪くなった場合には、症状を確認する。
- コロナ感染症が疑われる場合には、速やかに最寄りの保健所に電話にて対応を相談する
- 対応するガイドは、マスクを着用して対応する
- 保健所の要請に従って、情報の共有や営業に関する対応を行っていく
- 新型コロナウイルス感染症発生に関する本業の休業や営業停止に関しては、補助金を含む特別な社会保障が活用できる場合があるので、情報を収集して専門家に相談する
- 感染症が発生した場合には、初期対応における迅速性と透明性が重要となるので、迅速かつ誠実に、保健所・協議会・ガイド・参加者とコミュニケーションを行う

## チェックリスト

## 【ツアー実施段階で、一度はチェックすべき事項】

1 事前チェックリスト（主に協議会が行う内容です）		
番号	チェック	具体的な内容
1		各アクティビティ感染リスク要因を特定し、その評価を行う。特に3密の観点から、感染リスクを評価する。
2		感染の基本的な対策をもとに、各アクティビティの対策を構築する。
3		最寄りの保健所と新型コロナウイルス感染症の疑いケースが発生した場合の対応を協議し、マニュアルの作成を行う。
4		適時都道府県のホームページ等にて感染状況を確認する
5		ガイドと参加者の健康情報を厳重に管理するファイルを用意する。ガイドの名前と緊急連絡先、シフトをファイルに保存する。参加者代表者の名前と緊急連絡先を記録して保存する（保管期間1か月後経過したら、適切な方法で廃棄すること）
6		協議会は、支払いに関して、事前清算（オンライン等）の利用を推奨する

## 【ツアー前に常にチェックすべき事項】

2 体験前チェックリスト（主にガイドが行う内容です）		
番号	チェック	具体的な内容
1		ツアー開始前に体温と健康状態を記入して、記録として保存する
2		ツアー開始前に、備品の消毒・清掃する
3		ツアー中や休憩中は、ガイドと参加者は社会的距離2m（最低1m）を保つようにする。

3 入場時チェックリスト（主にガイドが行う内容です）		
番号	チェック	具体的な内容
1		ガイドは、受付時には、参加者に消毒、社会的距離、マスク着用のへの協力依頼を掲示または口頭にて行う。
2		受付時には、参加者に手指消毒を行なってもらう。アルコールアレルギーに注意。
3		ガイドは、体験時に貸し出しするものは、貸し出し前に消毒する
4		参加者に、体調が悪い人や濃厚接触者がいないかを確認する（書面による確認とサインを考慮しても良い）

## ●その他の注意点

### ・お茶菓子の提供について

お茶菓子の提供をする際には自然と三密になることが多く、三密対策を徹底する

お茶菓子の提供をする際は、できるだけ間隔を空けて横並びで座れるように配置を工夫する

お茶菓子の共有は避けて、個別の提供としたり、ガイドが取り分けたりする

### ・救急対応に関して

体験中に気分が悪くなった場合には、ガイドはマスクと手袋をした状態で接触して対処する

体験中に体調不良が続いた場合、発熱や新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、ガイドの判断で体験を中断して、救急車を呼ぶ

ガイドまたは参加者に新型コロナウイルス感染が発生した場合には、保健所の指導に基づき、安全性が担保されるまで休業と社会保障の利用を考慮する

## 健康管理シート

ガイド健康管理シート	
ガイド名	携帯連絡先

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
月日	/	/	/	/	/	/	/
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
咳	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咽頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
呼吸苦	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
その他							
	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
月日	/	/	/	/	/	/	/
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
咳	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咽頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
呼吸苦	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
その他							
	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
月日	/	/	/	/	/	/	/
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
咳	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咽頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
呼吸苦	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
その他							
	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
月日	/	/	/	/	/	/	/
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
咳	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咽頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
呼吸苦	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
その他							



## 注意点

本シートは、ガイドの健康に関する情報で個人情報となるので、原則本人が管理するものとする。

保健所が要請した場合には、施設責任者の判断のもと、この記録用紙を提出しても良い。

体温測定は非接触性の体温計を推奨し、発熱がある場合は休業と受診を考慮する。

感染対策はスタッフに一定のストレスを与えるので、メンタルヘルスもアセスメントとケアを行っていく。

新型コロナウイルスに感染した人に濃厚接触した場合は、速やかに施設責任者を通して、保健所に報告する。

新型コロナウイルス感染症に関する予防や感染において、いかなる差別やハラスメントも許容できない。

健康確認シート

代表者名 \_\_\_\_\_ 携帯連絡先 \_\_\_\_\_ 日付 \_\_\_\_\_

参加者 1

- 平熱の範囲を上回る発熱がない
- 咳や咽頭痛、呼吸苦の症状がない
- 過去 2 週間以内に、新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者だと連絡を受けていない
- 過去 2 週間以内に、感染が引き続き拡大している国や地域への渡航歴がない
- 新型コロナウイルスに関する感染リスクを理解し、必要に応じて保健所と情報共有することに同意する

サイン \_\_\_\_\_

参加者 2

- 平熱の範囲を上回る発熱がない
- 咳や咽頭痛、呼吸苦の症状がない
- 過去 2 週間以内に、新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者だと連絡を受けていない
- 過去 2 週間以内に、感染が引き続き拡大している国や地域への渡航歴がない
- 新型コロナウイルスに関する感染リスクを理解し、必要に応じて保健所と情報共有することに同意する

サイン \_\_\_\_\_

参加者 3

- 平熱の範囲を上回る発熱がない
- 咳や咽頭痛、呼吸苦の症状がない
- 過去 2 週間以内に、新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者だと連絡を受けていない
- 過去 2 週間以内に、感染が引き続き拡大している国や地域への渡航歴がない
- 新型コロナウイルスに関する感染リスクを理解し、必要に応じて保健所と情報共有することに同意する

サイン \_\_\_\_\_

参加者 4

- 平熱の範囲を上回る発熱がない
- 咳や咽頭痛、呼吸苦の症状がない
- 過去 2 週間以内に、新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者だと連絡を受けていない
- 過去 2 週間以内に、感染が引き続き拡大している国や地域への渡航歴がない
- 新型コロナウイルスに関する感染リスクを理解し、必要に応じて保健所と情報共有することに同意する

サイン \_\_\_\_\_

参加者 5

- 平熱の範囲を上回る発熱がない
- 咳や咽頭痛、呼吸苦の症状がない
- 過去 2 週間以内に、新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者だと連絡を受けていない
- 過去 2 週間以内に、感染が引き続き拡大している国や地域への渡航歴がない
- 新型コロナウイルスに関する感染リスクを理解し、必要に応じて保健所と情報共有することに同意する

サイン \_\_\_\_\_